



ふれあい'なのかいち



②



①



③



④



⑤

- ① 前庭の賑わい
- ② 綿あめとかき氷の行列
- ③ 空気泡的当て
- ④ 祭りばやし保存会の演奏
- ⑤ 開会の挨拶

最後に公民館
三役様、副部長の
お二人をはじめ
文化部員の皆様
のご協力を頂き、
無事に夏祭り大
会を催す事が出
来ました事に感
謝申し上げます。

「夏祭り大会」を終えて

文化部長 丸山 敏恵

八月十四日、四年振りに「夏祭り大会」が
開催されました。

本年度は、諏訪神社境内よりコミュニテイ
ーセンターへ場所を移しての開催だった事
と台風の上陸も懸念され不安もありました
が、無事に行うことができました。

会場の装飾では「七日市場コーラス」の皆
様にペーパーフラワーとバルーンアートの
制作にご協力を頂きました。「祭りばやし保
存会」の皆様には演奏により会場を大いに盛
り上げて頂きました。

「綿あめ」「かき氷」「飲物」「ストラック
アウト」「空気砲的当て」「アニメ上映」「ピ
ンゴゲーム大会」の文化部員による催しも
大盛況でした。

「手作りかるた」勉強会

文化部長 1-6 本木 由香里

公民館活動の一つとして七日市場地区の歴史や文化を学び、そこから手作りかるたを作る勉強会が行われるという事で、自分の住む地区を知りたいという思いで初めて参加をさせていただきました。冊子「七日市場の歩み」を元に講師の曾根原先生より七日市場の自然歴史・文化などを、公民館長からは作り方の解りやすい説明を頂きながら五七調言葉として親しむ本当に楽しい時間でした。小さなお子さんも自分の視点を言葉として素晴らしい発表をされていました。

今後も続けて唯一の七日市場かるたの完成を願いたいと思います。



「手作りかるた」勉強会
【2023年6月25日】

『笑顔』咲き誇る

体育部長 関 嘉之

7月16日(日)室山アグリパークにて【温泉ウォーキング】を開催致しました。七日市場体育部の公民館行事としてもコロナ禍以降久しぶりの屋外行事となりました。開催趣旨は【ウォーキングと入浴】を楽しんでいただきご家族皆さまが元気になっていただきたいというものでした。当日はとても暑くウォーキングは大変だったかもしれませんが宝探し・ミニゲーム・お楽しみ摺み取り大会と楽しんでいただきました。展望広場に時折吹く心地よい風とお子様を楽しむシャボン玉、そして何より参加いただいたご家族皆さまの笑顔に癒されました。

地域に暮らす皆様と楽しいひと時が共有でき大変有意義なイベントとなりました。有難うございました。



温泉ウォーキング 【2023年7月16日】

七日市場の歩み講座を受講して

生活部長 6-1 松澤 高志

いつも通りそこにある諏訪神社。風景に溶け込んでいる隣家の巨木。普段の生活の中では特にそれらのことを考えることはない。

この度「七日市場の歩み講座」に参加し、そんなものたちの歴史をお聞きした。それは自分よりずっと前に誕生し、それぞれの時代の中で多くの人と関わりながらはるか先まで存在し続ける祠、鳥居、櫓の巨木の物語だった。

講義後の道すがら、教えていただいた場所の一つを訪ねてみた。櫓の巨木はいつもと変わらずその場所で風に枝を揺らしていた。ずっと前から多くの人に多くのことを伝え続けていたのだろう。何故かその巨木がいとおしく感じた。

歴史を学ぶと、そんな声を聴くことができるようになるのかもしれない。



七日市場の歩み講座 【2023年6月4日】



「かるた作り」の 今後への願い

六月二十五日、公民館・「歴史の会」共催の「かるた作り」の勉強会が、前述のように行われました。

そして、参加者の十六名は熱心で楽しそうに学び、四四字のうち、十八字・二七句の読み札が作られました。

作られた読み札から

④ 諏訪神社 鎮守の社で

手を合わす

⑤ 道祖神

疫病神は

とうせんぼ

⑥ 水田の

実り支
える
庄野堰

⑦ 漉し井戸の 声の主は

雨ガエル

⑧ 筆塚で

昔をしのぶ

子どもたち

⑨ ケヤキの木

私の背たけの

一七倍

⑩ 歴史積む

西木戸観音

区の宝

読み札の完了を

参加者が二七句作ってください、「かるた作り」の前途が明るくなりました。ただ、道祖神・庄野堰などダブりもあります。それで、後日公民館に一覧表を展示するとか、回覧して見ていただき、残りを今年度中に作りたいたいと思います。

今後、役員会で検討して期日などをお知らせいたしますので、ご協力ください。今年度は読み札を完了させ、来年度は写真と合わせて完成できることを願っています。

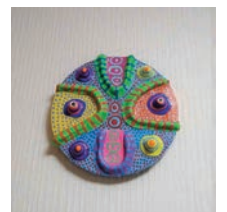
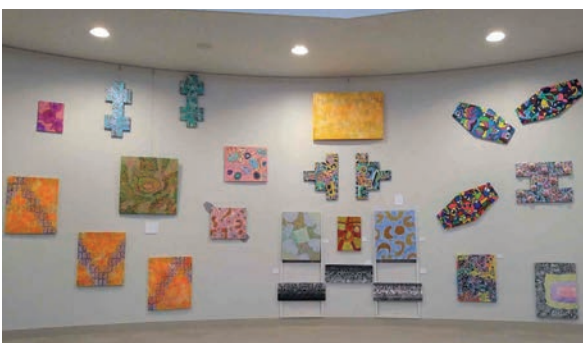
公民館・「歴史の会」

✓「いま、これが気になっています！」

市内在住の画家カミジヨウミカを知っていますか。市民タイムス土曜日に作品が掲載されていますので、ご存じの方、ファンの方も少なくないと思います。異星人や縄文人、妖怪、人体の部位などがモチーフになった不思議な世界。時にクスッと笑ってしまうタイトルとともに魂が充電されてくる感じ(個人の感想です笑)。

時々近隣で個展が開催されますので、ぜひ足を運んで実物に触れてみてください。

写真は個展の一場面(撮影拡散可)、愛用のミカデザインマグ、購入させて頂いた作品のひとつ「我が家を守る異星人」です。



1 - 10 紅林 奈美夫

「七日市場の歴史（第五十七回）」

地区の歴史の話題

曾根原 孝和

道祖神から 藤ノ木馬口の千国道沿いに、寛政十一年（一七九九）建立の道祖神があります。道祖神は、古くから境を守る神・道の神、さらには防災・防疫・縁結びの神として信仰されてきました。この道祖神は、三郷でも珍しい双体抱肩像の親しみのあるものです。

石像横の銘文を見ますと、横澤村・藤ノ木村が記され、隣同志の両村が建立したことが分かります。



双体抱肩像
と道祖神の
銘文

藤ノ木村とは この時の藤ノ木村は長尾藤ノ木のことで、元禄十一年（一六九八）の「長尾組村々町間道法之帳」には、七日市場のところに「小名」の分として藤ノ木村、長尾村にも「小名」の分として藤ノ木村がそれぞれみえます。共に横沢堰

系で古くから開発が行われてきました。なお、七日市場藤ノ木にも、寛政十年建立の道祖神があります。住吉荘の頃はどのような姿であったか不明ですが、一つのまとまった郷村をつくっていかかもしれない。今後の課題です。明盛村成立から 明治七年（一八七四）明盛村が成立し、村は明治二十九年（一八九六）には、村内を七つの区に分けました。第一区藤ノ木・第二区七日市場、あと三区一日市場・四区二木・五区及木・六区上中萱・七区下中萱です。この時藤ノ木は一つの区として独立しています。

その後、昭和十五年二月九日、前述の長尾藤ノ木が正式に七日市場に合併しました。この時、区では酒一斗五升、肴十円で盛大な祝賀会を行っていました。この日を迎えることができた、区民の皆さんの喜びのようすが浮かびます。十月二十九日の「ふるさと史跡巡り」は西部地域です。道祖神や石仏、堰などの理解を深めるよい機会だと思います。ご参加をお待ちしています。

編集後記

副公民館長として公民館の活動に関わるようになって半年、気づいたことが二つあります。私が思っていた以上に、年代も経験も多様な人たちが地域を大切に考えて、行事や活動に熱心に参加し協力してくれているのだということが一つ。コロナ禍で活動が止まっていた間に、行事の数を減らしたり、やり方を変えたりと、負担を減らす方向に見直しがされたようですが、それでもまだまだ大変だなというのが二つめです。

地域の人が気軽に集まりワイワイガヤガヤと楽しい時間を過ごす。企画・運営を担う部員の人も役員の人も、余り負担を感じること無く一緒に楽しめる、そんな公民館活動に出来たら良いなと思います。

副公民館長 杉田 浩康

七日市場地区公民館報
ふれあい なのかいち

Vol. 22 No. 2 第62号

【発行日】2023年10月8日

【発行所】七日市場地区公民館

【発行人】加藤 崇雄

【編集人】杉田 浩康

【監修】太田 隆

【編集委員】

田原 茂 (文化部)

新井 満 (体育部)

山田 七重 (生活部)

花岡 正明 (ボランティア)

松尾 常德 (ボランティア)

丸山 博幸 (ボランティア)

寺沢 真弓 (ボランティア)

【HP監修】

松尾 学 (ボランティア)